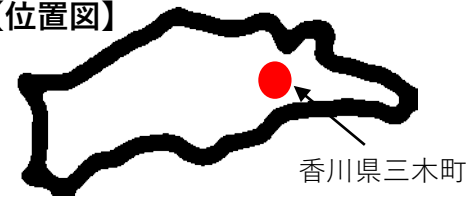


イチゴ栽培技術習得のための研修農場の整備と研修生に対するトータルサポート活動

- 香川県を代表するイチゴ産地である三木町では、近年、産地ぐるみで就農希望者を受け入れる機運が高まっており、県内はもとより県外からの移住就農者も増加傾向にある。しかし、近年の物価高騰による初期投資額の増大は、独立就農を阻害する要因となっている。
- そこで、令和7年度にイチゴ研修施設を設置するとともに、関係機関が連携し、就農相談から技術習得、独立就農まで切れ目のないきめ細かな支援を行う仕組みを構築した。

【位置図】



取組前

- 新規就農者の確保・育成**
関係機関が連携した新規就農者の確保・育成に取り組んでいるが、就農予定農地の確保、栽培施設の取得が障害となる場合が多い。
- 農地利用**
農業者の高齢化等による地域計画の受け手不在農地の増加など、遊休農地の拡大が懸念されている。



【受け手不在農地】

取組内容

- 全国からの就農希望者募集**
 - ①県内外の就農希望者への情報発信と研修生の募集
 - ②就農相談と農業体験受入
- トレーニングファーム研修**
 - ①イチゴ研修施設の設置と技術・経営指導
 - ②協力農家（新規就農者の里親等）及び香川県立農業大学校での受入研修の実施
- 受け手不在農地の利用**
農地機構が受け手不在農地を借受け研修施設を設置することによる、遊休農地の抑制と就農促進
- 独立就農支援**
研修終了後、当該研修施設のリースによる就農支援

取組後(成果)

- 研修用施設用地の確保
 - 研修用施設（イチゴ栽培施設）の取得
 - 研修生の受入れ：1名
 - 三木町新規就農支援チームの設置
- 【新規就農者数】
過去3年平均(R4～R6) 4.6人
→ R7: 4人, R8: 4人予定



【イチゴ研修施設】

【誘致体制】

香川県（農業経営課、東讃農業改良普及センター）：就農相談、技術・経営指導、青年農業者等との交流支援、就農定着支援
三木町：就農相談、移住相談、地域農業者等との交流支援、地元関係者調整、住居のあっせん等生活支援
三木町農業委員会：農地確保支援
(公財)香川県農地機構：就農相談会開催、個別就農相談、トレーニングファーム運営、技術・経営指導、農地確保支援
香川県農業協同組合：技術・経営支援、販路確保支援、地域農業者生産者組織との交流支援
(株)日本政策金融公庫高松支店：融資制度の紹介、営農資金確保支援

新規就農者や研修生の声

- 「イチゴ」を基幹とした農業経営を開始するために必要な技術・知識等を、新規就農者の里親による実地研修や農業大学校での座学（農業簿記、労務管理、病虫害防除、園芸作物流通等）により学ぶことができた。
- 就農後のイチゴ栽培を具体的にイメージすることができて安心である。

新規就農者誘致環境整備事業 活用年度：令和7年度

【問合せ先】公益財団法人香川県農地機構

TEL：087-816-3955

E-mail：k-nk@kagawa-nk.jp

HP：https://kagawa-nk.jp/